

1月22日(土)に、岡山大学病院2階外来において、「第1回研修医 OSCE(客観的臨床能力試験) ～Okayama Cup～」を開催いたしました。研修医の臨床技術向上だけでなく、病院を超える研修医の育成や各施設の研修プログラム向上を目的とし、岡山県内9病院の初期研修医21名が7グループに分かれて参加しました。各病院の指導医が評価者として参加し、岡山SP研究会の模擬患者5名にご協力いただき、総勢71名の参加がありました。研修医は模擬患者の医療面接から鑑別診断を導く『診断学』、救急外来における『急変時対応』やCTから診断・治療を導く『画像診断』などの6つのステーションを経験しました。

今回の研修医 OSCE を体験することで研修医は、系統だった鑑別診断の重要性、正確な医療手技の必要性や医師としての言葉の重みを感じることができ、今後の研修のモチベーション向上につながったようです。

このセミナーは、岡山大学病院 卒後臨床研修センター 医科研修部門が NPO 法人岡山医師研修機構の「第14回初期研修医のためのセミナー」として開催いたしました。

写真：医療面接『診断学』ステーションの様子

【本件問い合わせ先】

岡山大学病院 卒後臨床研修センター 医科研修部門 TEL:086-235-7877

NPO 法人 岡山医師研修機構

